

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 110

2017年2月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、工学部の木村 元彦先生です。

◆◆ CONTENTS ◆◆

1. 「ものづくり特別講演会」のご案内
2. 「薬機法セミナー実践編2  
～指定高度管理医療機器の認証申請のポイントとノウハウ～」のご案内
3. 「浜松医科大学における研究倫理の取り扱い  
～研究対象とデータと研究費～ セミナー」のご案内
4. 「地震津波シンポジウム  
東海・南海巨大地震を考えるin SHIMIZU」のご案内
5. 「平成28年度ふじのくにCNFプロジェクト推進事業  
「第5回技術講演会」開催のご案内
6. 「静岡大学との共同研究に関するアンケート」ご協力のお願い

---

1. 「ものづくり特別講演会」のご案内

IoT (Internet of Things)、ビックデータなどテクノロジーの進展を背景にドイツの「インダストリー4.0」などで産業革新が進行する昨今、中小企業にも大きなビジネスチャンスが到来するとの見方もあり、IoT活用によるメリットを享受する積極的な姿勢が重要だと考えられています。また、インダストリー4.0は、業務プロセスのIoT化であり、製造業だけにとどまらず全産業に影響するとされています。そこで、本地域の中小企業を対象に、今、世界で何が起きているのか、何が起きつつあるのか、インダストリー4.0・IoTへの理解をより一層深め、今後の事業活動における取り組みや活用を検討する際の最新情報を提供します。

【キーワード】

インダストリー4.0・IoT活用・AI (人工知能)・ビックデータ

【対象】中小企業、学術機関、行政、金融機関、産業支援機関

【講演】

《タイトル》「インダストリー4.0 最前線：Industrial IoTの導入とビジネスモデル」

《講演者》ベッコフオートメーション株式会社  
代表取締役社長 川野 俊充 氏

《講師略歴》

東京大学理学部物理学科を卒業後、日本ヒューレットパカード株式会社を経て2003年カリフォルニア大学バークレー校 ハース経営大学院経営学修士、日本ナショナルインスツルメンツ株式会社の事業部長、慶應義塾大学SFC研究所 上席所員を経て2011年に「EtherCAT」開発元のベ

しずだい産学連携メールマガジンVol110  
ツコフオートメーション株式会社代表取締役社長に着任し、ソフトウェアPLC/NC/RCのTwinCATによるPC制御ソリューションの普及に努めている。

お申込は、E-mailでお申込ください（定員180名）。

【日 時】 平成29年2月21日（火）14：00～16：00

【会 場】 プラサヴェルデ301・302会議室  
（静岡県沼津市大手町1-1-4）※沼津駅北口より徒歩4分

【申込・問合せ先】

静岡県東部地域技術振興協議会東部地域イノベーションセンター

E-mail: info [at] innovation-center.jp  
（所属機関、ご芳名、役職、TEL、FAX、E-mailを記載の上）

TEL：055-964-1581 / FAX:055-964-1583

---

## 2. 薬機法セミナー実践編2

「指定高度管理医療機器の認証申請のポイントとノウハウ」のご案内

医療機器の製造販売を行うためには、製造販売業者から医療機器のクラス分類に応じた製造販売承認申請、認証申請、製造販売届出が必要になります。本セミナーでは、9月に行われた薬機法入門編セミナー「薬機法の概要」を受講した方又はそれに相当する知識を有する方で、指定高度管理医療機器の認証申請（クラスⅢに相当する医療機器）を目指す方を対象に、申請書の作成事例をもとに具体的な記載内容のポイントとノウハウをご紹介します。

【日 時】 平成29年2月24日（金）14:00～16:00

【会 場】 アクトシティ研修交流センター6階 62研修交流室

【内 容】 指定高度管理医療機器の製造販売における認証申請を行うための実務について

【講 師】 独立行政法人中小企業基盤整備機構  
ものづくり支援コーディネータ 荻生 久夫氏

申し込みは、下記URLから直接、又はFAXでお申込ください  
<https://www.hamamatsu-cci.or.jp/events/show/650/>

【申込・問合せ先】 浜松商工会議所 工業振興課  
TEL：053-452-1116 FAX：053-459-3535  
E-mail:kogyo[at]hamamatsu-cci.or.jp

本セミナーは下記の事業として行われます。  
浜松医科大学「平成28年度AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業」、  
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点[JST地域産学官共同研究拠点整備事業]、

### 3. 「浜松医科大学における研究倫理の取り扱い ～研究対象とデータと研究費～セミナー」のご案内

医療分野の機器・創薬開発においては、技術だけではなく、大学と企業が双方で周辺情報を把握することが必要となってきました。近年、不正行為としてデータや結果の捏造、改ざん及び他者の研究成果等の盗用が報道されています。今回のセミナーでは、適正に医学研究を実施するために必要なこと等についてわかりやすく紹介します。医工連携に携わり、医療分野の周辺情報にご興味のある方は是非ご参加下さい。

【日 時】 平成29年3月3日（金）17:00～18:00

【会 場】 TKP浜松アクトタワーカンファレンスセンター  
カンファレンスルームB  
(静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクトタワー25F)

【内 容】 浜松医科大学における研究倫理の取り扱い  
～研究対象とデータと研究費～

【講 師】 浜松医科大学 副学長（研究担当）、  
研究公正・倫理教育統括責任者、  
光先端医学教育研究センター 長・フォトニクス医学研究部教授  
菫島 伸生

お申込は、FAXまたはE-mailでお申込ください。

【申込・問合せ先】 浜松医科大学 産学官連携推進部  
TEL : 053-435-2681 FAX : 053-435-2179  
Email:chizai[at]hama-med. ac. jp

本セミナーは下記の事業として行われます。  
浜松医科大学「平成28年度AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業」、  
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点[JST地域産学官共同研究拠点整備事業]、  
浜松商工会議所 浜松医工連携研究会事業、  
浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

---

### 4. 地震津波シンポジウム 「東海・南海巨大地震を考えるin SHIMIZU」のご案内

本シンポジウムは、迫り来る東海・南海地震に備えて、現在行われている最新の地震研究の現状を紹介し、防災意識を高めてもらうことを目的とします。また、東日本大震災の震災遺構のデジタルアーカイブ画像、海洋研究開発機構(JAMSTEC)

しずだい産学連携メールマガジンVol110  
の活動の展示も同時に行います。

【日 時】2017年3月25日（土）13：00～17：00

【場 所】静岡市清水区 清水テルサ  
（〒424-0823 静岡市清水区島崎町223）

□■プログラム■□

- 13：30 開会の挨拶 北村晃寿（静岡大学）  
来賓の挨拶 畠山和純（全国津波議連会長）  
来賓の挨拶 難波喬司（静岡県副知事）
- 13：50 古地震・津波研究からみた東日本大震災 菅原大助  
（ふじのくに地球環境史ミュージアム）
- 14：15 「ちきゅう」による深海掘削で明らかになった東北沖地震・巨大津波発生  
のメカニズム 氏家恒太郎（筑波大学）
- 14：55 津波堆積物層の発掘調査から戦国時代の津波災害を想定する  
金子浩之（伊東市史編さん室市史編さん担当主幹）
- 15：20 静岡県のレベル2と1、そして1.5の地震・津波  
北村晃寿（静岡大学）
- 15：45 水・ガス・電気を自家供給する災害時地域防災拠点の創成  
木村浩之（静岡大学）
- 16：10 静岡県の地震・津波対策 鈴木 亨（静岡県危機管理部）
- 16：50 閉会の挨拶 静岡大学防災総合センター長 増田俊明

【震災遺構3D展示会】 10：00～16：30

【海洋研究開発機構(JAMSTEC)の活動の展示】 10：00～16：30

【問合せ】静岡大学大学院理学研究科地球科学専攻・防災総合センター  
担当：北村晃寿  
TEL：054-238-4798（ダイヤルイン）FAX：054-238-0491

---

5. 「平成28年度ふじのくにCNFプロジェクト推進事業  
[第5回技術講演会]開催」のご案内

静岡県産業振興財団では、次世代素材として注目を集めている『セルロースナノファイバー（CNF）』を利用した製品（用途）開発を支援するため、技術講演会を開催します。

詳しくはこちら [http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news\\_370.html](http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news_370.html)

【日 時】平成29年3月7日（火）13：30～15：40（受付13：00～）

【場 所】アクトシティ浜松 コンgressセンター2階 22+23会議室  
（浜松市中区板屋町111-1）

□■内 容■□

しずだい産学連携メールマガジンVol110

- (1) 「紙のリノベーション ～CNFの触媒・電子材料応用～」  
講師：大阪大学 産業科学研究所 特任助教 古賀大尚 氏
- (2) 「セルロースナノファイバーの特徴と使い方 ～最新の研究、用途開発状況～」  
講師：第一工業製薬株式会社 事業本部  
レオクリスタ事業部 開発グループ 主任研究員 後居洋介 氏

【参加費】 無 料

【定 員】 50名 (先着順 ・ 定員になり次第、締切)

【問合せ先】 公益財団法人静岡県産業振興財団 企画・創業支援チーム (榛葉、森)  
TEL : 054-254-4511 FAX : 054-251-3024  
E-mail : sougyou[at]ric-shizuoka.or.jp

---

6. 『静岡大学との共同研究に関するアンケート』 ご協力をお願い

静岡大学では、平成29年度から開始する第3期中期目標期間における重点的取り組みとして、地方総合大学として、地域活性化の中核拠点となり地域に貢献するとともに、光応用工学分野をはじめとする最先端の強み・特色のある研究分野を重点的に推進し、世界・全国的な教育研究拠点を目指すこととしています。

そのため、これまでも県内・県外問わず様々な企業様と共同開発に関わる課題を定め共同研究を行っており、今後も更にこのような産学連携を推し進めていく所存です。

つきましては、本学の共同研究の現状と改善点を把握するため、アンケートを実施し、皆様に静岡大学との連携について忌憚のないご意見をご教示願えないかと考えております。

業務ご多忙の折に恐縮ではございますが、所用時間は1分程度でございますので、3月10日(金)までに下記サイトにアクセスしご回答のご協力をお願い致します。

【実施期間】 2017年2月3日(金)～3月10日(金)

【Webアンケートサイト】 ・ ・ アクセス願います

<https://www.tfaforms.com/4598601>

【本件に関する問い合わせ先】

静岡大学イノベーション社会連携推進機構

(アンケートについて) 長島 nagashima[at]cjr.shizuoka.ac.jp  
(共同研究について) 伊藤 h-ito[at]cjr.shizuoka.ac.jp

---

《 みんなのコラム -104- 》

記：工学部 化学バイオ工学科 教授 木村元彦  
ページ(5)

私の研究室では、主に医用生体工学分野の企業との共同研究を実施しています。この分野の研究は浜松医大からの客員講座での研究として開始し、20年程度以前まではキャンパス内で犬などを使用した動物実験が実施できたことから、外科手術機器の開発、創傷治癒促進法の開発など、動物実験を利用した技術開発の共同研究を実施しました。浜松医大の外科の先生方から、動物の心臓手術などの技法を「門前の小僧」のごとく修得して企業との共同研究に活用していました。その後、動物や麻酔薬の管理が困難となり、動物実験を全て止め、現在では動物細胞を使用した共同研究を実施しています。キャンパス内に細胞操作技術に卓越した技術を持っておられる技術職員が居られ、その技術職員と学生とで主にマウスの細胞を使用した共同研究をしています。

また、細胞関連以外の共同研究として、外科用骨切削器具の開発、外科用内視鏡の改良、鼻腔疾患患者の鼻腔内流動状態の解析、遺伝子増幅（PCR）技術の開発、建築用杉材の改質技術の開発など、広い意味での生体を対象とした多くの共同研究を実施しています。

私は化学バイオ工学科という化学分野の学科に所属していますが、比較的簡単なレベルの電子回路の設計・試作や電子計測ができることから、企業との共同研究においても専用電子機器を楽しみながら試作させて頂いています。

これまで、多くの企業の方々と開発研究のお話をさせて頂きましたが、企業の方々が大学の研究者に求めていることのひとつに、「大学の研究者にしかできない発想」があると感じています。多くの企業が企業内に高いレベルの技術開発環境があるにも関わらず、大学の研究者に技術的相談を求める理由は、大学の研究者がそれぞれの得意とする分野を含めた周辺技術を俯瞰して発想できる能力が期待されているからだろうと思います。

---

<< 編集後記 >>

この度、本学電子工学研究所寺西信一特任教授が日本人で初めて、クイーンエリザベス工学賞を受賞されました。受賞理由は「固体撮像素子（CCDイメージセンサおよびCMOSイメージセンサ）の研究開発、特に埋込フォトダイオード（Pinned Photodiode）の発明」の功績に対してで、本学の重点研究分野である光・イメージング分野の画期的なイノベーションに関するものです。

クイーンエリザベス工学賞は、英国が工学分野のノーベル賞を目指して設立した国際的な賞であり、「世界の人々に恩恵を与える画期的な工学イノベーション（技術革新）を生み出したエンジニア」が対象。寺西先生が日本で初めて受賞されたことは本学にとりましても大変名誉なことです。本学の学生・卒業生・教職員の大きな誇りと励みになります。この受賞がきっかけとなり、多くの技術者が益々ご活躍されることを期待いたします。

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで  
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：宮下真紀子

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1703

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* -

Copyright (c) 2008-2016

Organization for Innovation and Social Collaboration,  
Shizuoka University. All rights reserved